令和４年度市民アンケート調査「大阪市のみどりについて」

調査結果報告書

令和５年５月

大阪市建設局

１　調査目的

本市では、平成25年に「新・大阪市緑の基本計画」を策定し、市民・事業者・行政が一体となってみどりのまちづくりを推進してきました。

今後、少子高齢化のさらなる進行や災害への対応、都市環境問題の顕在化などの社会情勢の変化や、より多様化する市民ニーズに対応しながら、みどりのまちづくりを推進していく必要があると考えています。

そこで、街路樹や民有地内の樹木などの緑や公園などといった「大阪市のみどり」に対する市民のみなさまのお考えをお聞きし、今後の施策展開等の参考とさせていただくことを目的として、調査を実施しました。

２　調査概要

【調査対象】

大阪市内にお住まいの20歳以上の方

【調査手法】

インターネットを利用したウェブアンケート調査

【調査実施時期】

令和５年３月１日～３月５日

【回答数】

1,000名

【回答者の属性】



３　調査結果

|  |
| --- |
| Q１　あなたは大阪市の緑について満足しますか。  ＜a.市内全体の緑＞と＜b.お住まいや職場・学校近くのあなたにとって身近な緑＞ ＜c.大阪の顔となる場所の緑＞のそれぞれについて次の中からあてはまるものを１つずつお選びください。 |



【回答の傾向】

* ＜a.市内全体の緑＞、＜b.お住まいや職場・学校近くのあなたにとって身近な緑＞、 ＜c.大阪の顔となる場所の緑＞すべてにおいて、『やや満足している』と回答した人の割合が最も多い。
* 『満足している』と『やや満足している』を合わせた割合と、『やや不満である』と『不満である』を合わせた割合を比較すると、すべてにおいて『やや不満である』と『不満である』を合わせた割合がわずかながら上回っている。

|  |
| --- |
| Q２　あなたは、10年前と比較して、大阪市内の緑は増えたと思いますか、減ったと思いますか。  ＜a.市内全体の緑＞と＜b.お住まいや職場・学校近くのあなたにとって身近な緑＞及び＜ｃ.大阪の顔となる場所の緑＞のそれぞれについて次の中からあてはまるものを１つお選びください。 |



【回答の傾向】

* ＜a.市内全体の緑＞、＜b.お住まいや職場・学校近くのあなたにとって身近な緑＞、＜ｃ.大阪の顔となる場所の緑＞すべてにおいて、『変わらない』と回答した人の割合が最も多い。
* 『増えた』と『やや増えた』を合わせた割合と、『やや減った』と『減った』を合わせた割合を比較すると、すべてにおいて『やや減った』と『減った』を合わせた割合が上回っている。

|  |
| --- |
| Q３　あなたは公園をどのくらいの頻度で利用していますか。  ＜a.身近にある小さな公園＞＜b.大規模な公園＞のそれぞれについて次の中からあてはまるものを１つずつお選び下さい。  「大規模な公園」について  「大規模な公園」とは、中之島公園、扇町公園（以上、北区）、毛馬桜之宮公園（北区、都島区）、正蓮寺川公園（福島区、此花区）、大阪城公園（中央区）、靱公園（西区）、八幡屋公園（港区）、千島公園（大正区）、天王寺公園、真田山公園（以上、天王寺区）、中島公園（西淀川区）、十三公園（淀川区）、城北公園（旭区）、鶴見緑地（鶴見区）、南港中央公園（住之江区）、長居公園（東住吉区）の16公園を対象としています。 |



【回答の傾向】

* ＜a.身近にある小さな公園＞、＜b.大規模な公園＞ともに、『ほとんど利用しない（年１～２回程度）』と回答した人の割合が最も多い。
* 『月に１回』以上の頻度で利用する人の割合は、＜a.身近にある小さな公園＞、＜b.大規模な公園＞それぞれにおいて、34.6％、27.7％となっている。